

令和2年度 学校関係者評価報告書

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校 学校関係者評価委員会は、「令和元年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて、学校関係者評価を実施したので、下記の通り報告します。

1. 学校関係者評価委員

- (委員長) 村山 忠 公益社団法人 園芸文化協会 事務局
(委員) 草間 祐輔 住友化学園芸株式会社
研究開発部お客様相談チーム チームリーダー
大久保茂徳 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会会員
東京テクノ・ホルティ園芸専門学校 講師
桃木 好之 本校卒業生
株式会社花弘 制作デザイン マネージャー
高野真樹子 本校卒業生
東京テクノ・ホルティ園芸専門学校 講師
(事務局) 伊東 政信 学校法人伊東学園 理事長
東京テクノ・ホルティ園芸専門学校 校長
水本寿美江 同 教務部長
小池 智子 同 フラワーデザインコース長
永井 建 同 総務部長

2. 実施日時 書面開催 議案書依頼：令和3年2月10日 回答期限：令和3年2月26日

3. 令和元年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

1) 教育理念・目標

- ・現状の通り、理念・目的・育成人材像は外部に広く積極的に発信し続けるとともに、学校の将来構想をより明確にし、その実現に努めていくこと
- ・多様化する社会の対して柔軟な対応ができるよう工夫し続けること

2) 学校運営

- ・運営方針や事業計画は定められているので、教職員へさらに浸透させ、運営をさらに続けていくこと
- ・総務関連を含み、情報システムを効率よく導入していくこと

3) 教育活動

- ・前回からの課題である授業評価の実施については、評価体制が未だに実施されていない。例えば、令和2年度、新型コロナウイルス感染対応策の一つとしてのオンデマンド化した授業の映像の活用、学生からのアンケートを取得など、どのような形で実施するかは、教育内容の質を上げるために今後も模索し実行していく必要がある

- ・カリキュラムの中でコロナウイルス感染対応など変化する社会で、ビジネスの変化を指導することも今後取り入れていく必要がある

4) 教育成果

- ・就職や資格取得、各授業の習熟到達点、退学など学生一人一人に合った個別対応がさらに必要になってくる
- ・花き・園芸業界で必要とされる資格取得については、学生自らの実力の証明であり、就職後においては資格を有していることが顧客からの信頼に繋がることから、引き続き、学生には積極的に取得を勧めていくこと

5) 学生支援

- ・前回に引き続き、発達障害がある学生や人間関係が上手くいかない学生のために、相談できる機関を確保してほしい
- ・卒業後のフォローや卒業生への支援体制に、もっと力を入れてほしい。卒業生の声を拾い上げて、在校生支援に繋げてほしい
- ・在校生の保護者へも定期的に情報発信をしてほしい
- ・経済的に困窮している学生の支援をするために、引き続き、高等教育無償化認定校なる体制を強化してほしい

6) 教育環境

経営上可能な範囲で整備を続けていくべきであろう。そんな中、年度末近くより広がった新型コロナウイルス感染対策は、引き続き対応してほしい

7) 学生の募集と受け入れ

学生を確保するために SNS 利用や個別対応など、学生募集活動は続けてほしい

8) 財務

財務情報の公開は適切に行われている

9) 法令等の遵守

特に問題ないと思われるが、できる限り早期に自己点検・評価の結果を公開して、積極的に問題点の改善につとめてほしい

10) 社会貢献

- ・花卉・園芸に関わるイベントやボランティア活動に関する情報を積極的に得るように努めてほしい。ただし、それが学校として取り組める内容かどうかを精査する必要がある。
- ・学校で企画内容を考えてイベントに持ち込むことも一策である
- ・授業内で制作したものを、高齢者施設や幼稚園等に無償提供する方法を考えてみてほしい
- ・学生たちが関わったことに対して人に喜んでもらえる実体験は、その後の学習に対するモチベーションアップにつながるので、ぜひ進めてほしい

3. 総評

上記 10 項目について、東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の教育活動、学校運営は概ね問題なく行われていると評価します。ただし、教育活動など一部の項目については、さらなるレベルアップを図るための意見、提案が多く出されたことから、次年度以降一層の注力を望みます。

以上

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
令和2年度 自己点検・自己評価報告書

— 令和元年度分 —

令和2年12月

学校法人 伊東学園
東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

学校法人 伊東学園 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
令和元年度 自己点検・自己評価

平成19年に改正された学校教育法及び学校教育法施行規則により、専修学校・各種学校においては「自己評価の実施と評価結果の公表が義務化」され「学校関係者評価の実施と評価結果の公表が努力義務化」された。これに伴い本学でも、より教育の質を高め、社会から信頼される学校を目指し、自己点検評価内容の公表を行うこととした。点検は、文部科学省のガイドラインを参考に10項目について行った。

学校法人 伊東学園 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
自己点検・自己評価委員

委員長	理事長・校長 伊東 政信
委員	教務部長 水本 寿美江
	フラワーデザインコース長 小池 智子
	総務部長 永井 建

1.学校の教育目標

教育目標(育て上げようとする人物像)

- ・企業から喜んで迎え入れてもらえる人材
- ・花と緑を通じて人に豊かな気持ちや安らぎ、心地良い環境を提供できる即戦力たる人材
- ・働くことに夢と誇り、やりがいを感じることでできる人材
- ・常に向上心と自らの目標に関する事柄に興味・関心を持ち、創意工夫と努力を怠らない人材
- ・将来のオーナーやデザイナー、第一線で活躍を目指そうとする人材

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・学生の夢や希望をかなえるために全力を尽くすこと
- ・より魅力的で、実戦的な教育内容とするべく、研究・研鑽を怠らないこと

<学生の学力などの低下がみられるため、充分に対処すること>

- ・コミュニケーション能力、基礎学力の向上を図ること
- ・卒業後の目標が不確かな学生に対しては、根気よく指導を続けること

<卒業後の進路の拡大を図ること>

- ・就職先をさらに提供するために、卒業生や既存の企業とのつながりを太くし、同時に新規企業を開拓すること

<授業内容の高度化を図ること>

- ・授業・実習に対する学生からの評価を生かして、授業内容の高度化と、授業に対する魅力を高めること

- ・分け隔てなく学生募集に協力すること
- ・同時に、募集対象者を留学生まで広げるなど、収入増の取り組みを行うこと
- ・施設・設備・什器等の管理や財務基盤についても関心を払うこと

評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	○				
2	学校の特色はなにか	○				
3	学校の将来構想を抱いているか		○			

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学校の理念・目的・育成人材像は定められており、学校の特色もパンフレットやホームページを通じて外部にも発信している。前回会議にもあったように実現につとめていく。

②今後の改善方策

3年、5年後の社会情勢を見据えた学校の在り方や教育内容の方策を引き続き改善していく必要がある。新カリキュラムの導入、さらに今後もマイナーチェンジをしながら教育内容を改善していく。

③特記事項

(2)学校運営

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	運営方針は定められているか			○		
2	事業計画は定められているか			○		
3	運営組織や意志決定機能は効率的なものになっているか			○		
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか		○			
5	意思決定システムは確立されているか		○			
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか				○	

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

運営方針や事業計画は定められているので、全教職員に浸透していけるとよい。

②今後の改善方策

学校運営に関する事項については全教職員で共有していく。情報システム化に関しては、今後を見据え効率的な仕組みを導入していく。

③特記事項

(3)教育活動

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか		○			
2	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか		○			
3	カリキュラムは体系的に編成されているか		○			
4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか		○			
5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか		○			
6	授業評価の実施・評価体制はあるか				○	
7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		○			
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	○				
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	○				
10	資格取得の指導体制はあるか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

授業評価の実施・評価については、まだまだ体制が整っていない(口頭での聞き取りによる情報収集はある)。外部からの職業教育への評価については、引き続き、教育課程編成委員会の開催によって継続実施していく。

②今後の改善方策

授業評価の実施・評価体制については定期的なアンケートの実施などを通じて整えていく。就職した際に求められるスキル、専門学校としての指導レベルを考慮しながら、今以上のカリキュラムの充実が必要である。教育課程編成委員会での外部からの評価はカリキュラム・授業内容の編成にあたり、引き続き取り入れていかなければならない。

③特記事項

--

(4)教育成果

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	○				
2	資格取得率の向上が図られているか	○				
3	退学率の低減が図られているか		○			
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

年度によって若干の変動はあるが、就職率、資格取得率については高水準を保っている。退学率は年間10%前後で推移しているが、令和元年度は80名在籍、1年生44名中4名退学、2年生36名中1名退学、退学率10%を下まわったが、引き続き低減させるようにしたい。

②今後の改善方策

就職率、資格取得率は数字だけでなく、積極的な企業開拓や取得させる資格の取捨選択を行い、質の向上を図っていく必要がある。退学率については保護者とも連携し、一層の低減を図っていく。

③特記事項

(5)学生支援

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	就職・進学指導に関する体制は整備されているか		○			
2	学生相談に関する体制は整備されているか		○			
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		○			
4	学生の健康管理を担う組織体制があるか				○	
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか		○			
6	学生の生活環境への支援は行われているか			○		
7	保護者と適切に連携しているか			○		
8	卒業生への支援体制はあるか			○		

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学生部という組織はないものの、担任、コース担当教員が普段から面談等を通じて各種の相談は受けている。
保護者に対しては、行事や就職活動に関する情報を提供している他、就学状況に問題があった場合には個々に保護者と面談を行っている。

②今後の改善方策

今後、スクールカウンセラーなどの導入を検討する必要がある。
卒業生に対しての支援体制は学校側からの積極的な働きかけはあまりできていないため、同窓会組織を整備しながらしくみを作っていくようにしたい。
令和2年度から認定を受けている高等教育修学支援新制度の引き続き認定が受けられるように作業を進めていく。

③特記事項

--

(6)教育環境

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか			○		
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	○				
3	防災に対する体制は整備されているか		○			

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

施設・設備の若干の老朽化がみられる。教育活動や学生が求める環境に適応しなくなってきている。

②今後の改善方策

教育設備や快適な学生生活を送れる環境整備に少しずつ修理、營繕している。令和元年度は、学内PCの入れ替え(OSの変更に伴い)を実施した。

③特記事項

(7)学生の募集と受け入れ

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	学生募集活動は適正に行われているか	○				
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	○				
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	○				
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学生募集については募集要項に基づき適正に行われている。

②今後の改善方策

学生募集に必要な教育成果について、カリキュラムや就職実績等、現状より魅力あるものを提供していく必要がある。

③特記事項

(8)財務

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか			○		
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか			○		
3	財務について会計監査が適正に行われているか	○				
4	財務情報公開の体制整備はできているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①課題

近年は学生数は増加しているが、財務基盤の中長期的な安定にはいたっていない。財務情報の公開については現在整備を進めているところである。

②今後の改善方策

財務基盤の主となるのは学生数であり、学生数を増やすための魅力あるカリキュラムの作成、充実した就職実績を上げることに注力しなければならない。

③特記事項

(9)法令等の遵守

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○				
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		○			
3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		○			
4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①課題

平成30年度分の自己点検・自己評価をサイトで公開をした。問題点については引き続き改善をしていく。

②今後の改善方策

自己点検・自己評価の結果を継続公開するにあたり、今一層の委員会の整備、また、委員会委員以外の教職員にも結果とその問題点について共有し、学校全体となって改善することが必要である。

③特記事項

(10)社会貢献

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか			○		
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか			○		
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか			○		

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学生のボランティア活動について、学校側から紹介することはないが、学生からの活動の希望があれば支援していく。

②今後の改善方策

今後、地域のイベント参加など社会貢献への取り組みを模索していく必要がある。学生のボランティアについては学校からの情報提供を増やせるようにしたい。

③特記事項